

# 樹木確認の結果

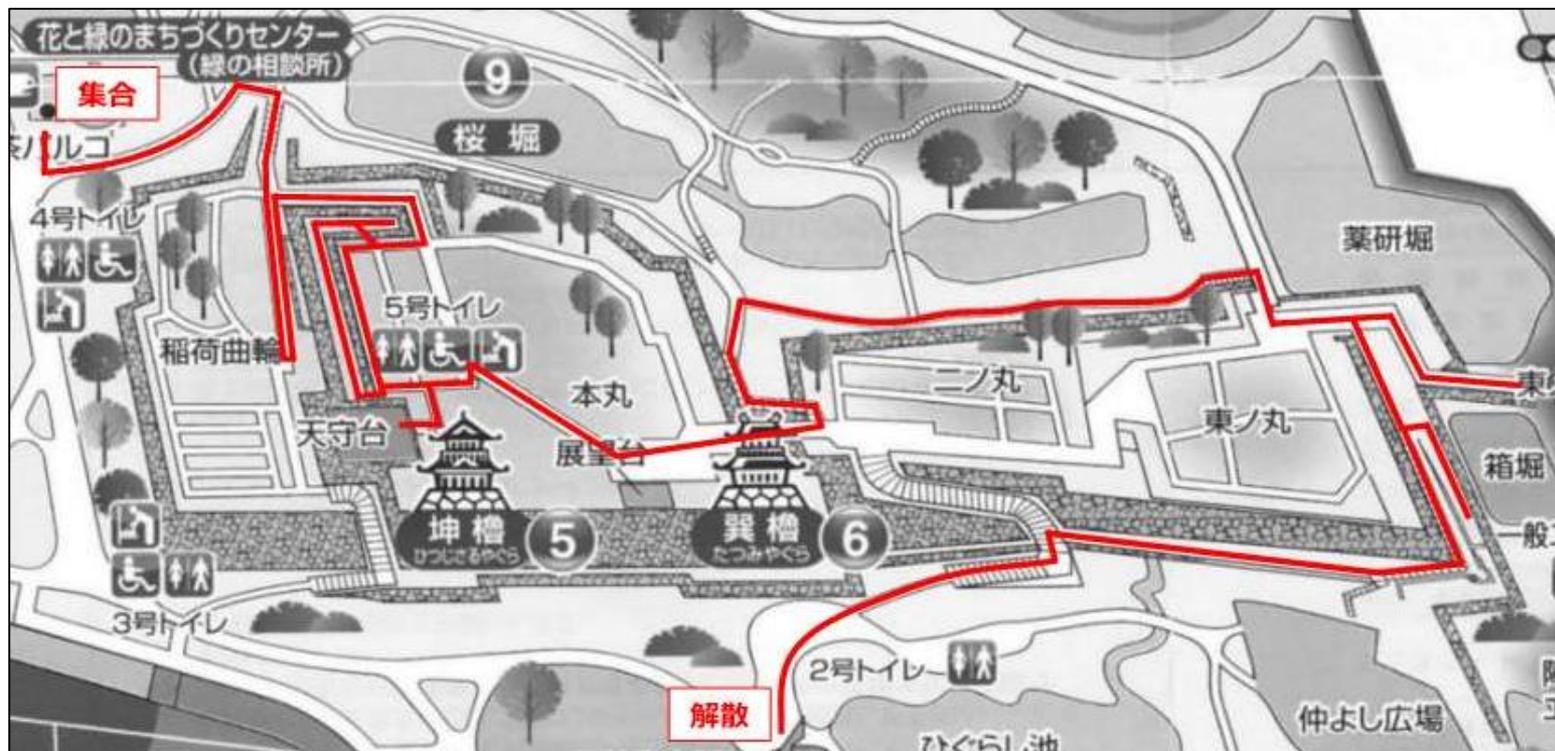
令和5年10月31日

# 1 樹木確認（第12回明石公園部会）の結果

## (1) 樹木確認の概要

- 『伐採樹木選定の基準』（第11回において提示）に基づき、本丸西側、東ノ丸北側、箱堀周辺において樹木1本1本の確認を実施。
- 専門委員として山中氏(樹木医)、水田氏(石工)の2名を招聘し、専門的知見に基づいた意見をいただいた。

### <行程図>



# 1 樹木確認（第12回明石公園部会）の結果

## （2）主な議論

- 現に石を動かしている樹木等の危険性について共有。
- 樹木によって動かされた石が落下すると、人を殺傷する可能性がある。
- 樹木伐採によって緑陰がなくなり、周囲の環境が大きく変化する。
- 伐採候補としていた樹木のうち数本については、石垣への影響の有無に関して異論が出た。  
一方、経過観察対象としていたサクラについて、剪定して弱らせるよりも伐採したほうがよいとの意見。
- ウバメガシには、備長炭にするなど切ったうえで活用してきた文化がある。ただ伐採するのではなく、切って活用するという樹木管理のサイクルを考える。
- 短期的リスク(直近の安全確保)だけでなく、長期的リスク(伐採後の石垣の安定性)への対応が必要
- 石垣は石垣で見せ、樹木は樹木で健全な場所で育てるという考え方。



# 1 樹木確認（第12回明石公園部会）の結果

## (3) 対応

- 伐採候補であった樹木3本（275番,300番,874番）は剪定により対応し、経過観察とする。
- 経過観察予定であった樹木1本（298番）は伐採とする。
- 伐採した樹木については、炭や薪にするなどの活用を検討。
- ※伐採樹木、経過観察樹木の分布については、『ゾーニング図A別紙』として明示する。(東ノ丸北側除く)

### ■ 本丸西側、東ノ丸北側における伐採本数

	本丸西側	東ノ丸北側	計
樹木の本数 (石垣から5m以内)	68	88	156
早期伐採	33	0	33
経過観察	35	88	123

### ■ 箱堀周辺の樹木について

- 箱堀の石垣には多数の樹木が生えており、既に崩落している箇所もあるため、文化財保存の観点から、早期の伐採が必要。
- 一方、箱堀では伐採による希少生物への影響も懸念される(保護ゾーンにも位置付け)ことから、今後、調査を行ったうえで、協議の場での合意形成を図りつつ慎重に検討を行う。
- エノキ(508番)については、箱堀内の希少生物への影響がない箇所に生えており、また、現に石垣を動かしていることから早期伐採を行う。

### ◆サクラ (275)



#### 【説明】

大きく根を張っており、倒木時には裏込め石や石垣の土を根こそぎ持っていく恐れがある。

#### 【意見】

- 今のところ石垣に問題はなく、すぐに根が石を押し出すということはないと考える。(水田専門委員)
- 根元から切る必要はない。外向きに伸びている枝を落として対処すればよい。(小林委員)
- 現時点で木が健全であるのであれば、枯れている枝を落として、残してもよいと考える。(嶽山副部長)

#### 【対応】

石垣から外に張り出している枝や枯れ枝を落として、**経過観察**

### ◆ウバメガシ (278)



#### 【説明】

石垣の外側に向かって斜めに傾いており、反対方向の石垣の裏込めの深くまで根を伸ばしていることが想定される。倒木時に石垣ごと破壊する恐れがある。

### ◆ウバメガシ (280)



#### 【説明】

石垣の天端から近い。  
柵を破壊している。

### 【意見】

- 2  
7  
8
- 広葉樹は傾くと根が反対側に発達する。ウバメガシの根は直下から更に横に伸びるため、裏込め石に入り込んでいるものと推測する。(山中専門委員)
  - 石垣が崩れるほどまでにはなっていない。(小林委員)
  - 2本とも切ると緑陰の消滅によって日光が当たるようになり、周辺環境が大きく変化する。(高田部会長)
  - ウバメガシには、切って備長炭にするなど活用してきた文化がある。(高田部会長)

### 【対応】

伐採（炭、薪にする等により活用）

### ◆サクラ (298)



#### 【説明】

相当弱っているため、近いうちに枯れてくることが想定される。

#### 【意見】

- アベマキに覆われて日が当たらなくなっている。(小林委員)
- ソメイヨシノは剪定すればするほど弱っていく。瀕死の状態では枝を切るほうがかわいそう。(高田部会長)
- 明石公園ではサクラは残せるものは残すという方針で管理してきたが、既に弱っているため、伐採することを検討してもよいと考える。(山中専門委員)

#### 【対応】

**伐採**

### ◆サクラ (300)



#### 【説明】

木の根元の2つの石が飛び出しており、木の根が影響しているのではないかと考えられる。

石垣の天端からの距離が近い。

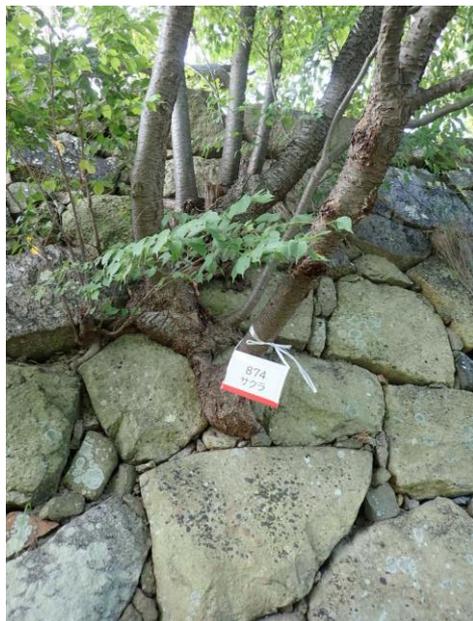
#### 【意見】

- 今すぐ切らなくても経過観察でよいのではないか。(丸谷委員)
- 石垣自体がそもそも野面積みであるため、がたがたなもの。動いていないとは言えないが、木の根だけが影響しているとも思えない。(水田専門委員)

#### 【対応】

**経過観察**

### ◆サクラ (874)



#### 【説明】

石垣から直接生えており、成長により石垣を壊す恐れがある。

分布上希少性があるということなので、挿し木や接ぎ木で他の場所に移すことを検討。

#### 【意見】

- ウスゲヤマザクラは県内でも数ヶ所しかない。上にまっすぐ生えている枝と斜めに生えている枝に分かれており、石垣にモーメントをかけていることは十分考えられるため、斜めに生えているものは切るという方法もある。(小林委員)

#### 【対応】

斜めに生えている枝を落として、**経過観察**。

⇒今後、他の場所において挿し木(接ぎ木)を試み、定着すれば伐採。